

## 日加協会が懸賞論文を募集

### 国交五十周年を記念して

日加協会(近藤晋一会長)では、日加国交五十周年を記念して、外務省と

在日カナダ大使館の後援で懸賞論文を募集している。

論文のテーマは「これからの日加関係」と「私とカナダ」の二つ。いずれも日本語で四百字詰め原稿用紙十五枚以内。一人で両方のテーマに応募してもよい。応募締切りは九月十五日(当日消印有効)。応募資格は、年齢、国籍など一切制限ない。入賞者(二人)には、賞金各二十万円と東京・カナダ往復航空券、佳作者(五人)には賞金各五万円と副賞が贈られる。

応募の宛て先は、(〒100)東京都千代田区永田町二ノ一七ノ三 堤フラスク二〇一号、日加協会論文係。電話は〇三一五八一―〇九二五・一六九四。

### 日系人のよき理解者 カフマン女史が逝く

日系カナダ人のよき理解者であり、日系人が戦時中うけた不正待遇は人権無視であるばかりか、キリスト教国のとるべき措置でないとして強くオタワ政府を非難攻撃してきた恩人、エンマ・カフマン女史が先週トロントで死去した。享年九十七才。(注・同女史については、本紙前号で、高令のため入院中である旨伝えていた。)

カフマン女史は二十七年間にわたり、東京女子キリスト教団の全国幹事として日本婦人の解放につとめた。第二次大戦直前カナダに戻ったカフマン女史は、二

万二千人の日系人が大量移動され、数百人がインターンされる破目になったとき、発言権を失った日系人のため、不正義を訴えた。

カフマン女史には実妹がウオーターール市に居るのが唯一の遺族である。(「ニューカナディアン紙、二月九日号より」)

### カナダ北方に大油田 天然ガスも発見

カナダの北西準州で、これまでカナダで確認されている石油埋蔵量の割に当たる石油を擁するものと見られる大油田が発見された。

これは五月二十七日付のトロント・スター紙が報じたもので、場所はノーマン・ウェルズ、埋蔵量は推定六億バレルにのぼるといふ。これはどの油田が発見されたのは、カナダでは十数年ぶりのことである。発見したのはインペリアル・オイル社で、同社ではパイプラインを建設して市場へ輸送する計画をたてているという。

なお、カナダでは、最近、アルバータ州ウエスト・ペンビーナで大油田(推定埋蔵量一億五千万バレルから八億五千万バレル)が見つかったほか、イエローナイフの北およそ千八百キロの北極海海底で今までの確認埋蔵量の割に匹敵する量の天然ガスが発見されている。

### セイウエル教授(ヨーク大)が担当 筑波大 慶大、ICUのカナダ講座

新しいカナダ講座の講師として、ヨーク大学のジョン・セイウエル教授が赴任した。セイウエル教授は、一年

間、筑波大学、慶応義塾大学、国際基督教大学でカナダの政治制度や経済史を講義することになっている。

同教授は一九一九年生まれ。一九五六年にハーバード大学で博士号を取得したのち、ヨーク大学で歴史学、環境学などを担当。論文多数。著者に「The Office of the Lieutenant-Governor: A Study in Canadian Government and Politics, The Canadian Journal of Lady Aberdeen, How Are We Governed?」(共著。邦訳「カナダの政治」



ネルヴァ書房刊、The Rise of the Parti Quebecois 1967-1976, Canada: Past and Present (邦訳「近代カナダの歩み」、カナダ大使館発行)など。

### カナダ文献目録、希望者に送付

前号でお知らせしましたカナダに関する邦語文献目録ができあがりました。ご希望の方には、無料でお送りしますので、ハガキで当広報部宛てお申込み下さい。

なお、目録からもれている文献や、目録の準備作業が終わった(本年二月)あと発行された文献がありましたら、どうぞご連絡下さい。目録は今後、より完全なものにしていきたいと考えておりますので、ぜひ皆様のご協力をお願いします。カナダ関係の著作や論文をお書きになった方は、当大使館の図書館に一部寄贈していただければ幸いです。

## 編集後記

○カナダに新しい首相が誕生しました。東京サミットには、四十才を迎えたばかりのクラーク首相が出席します。そこで今号は、総選挙とサミットの二つに焦点を当てました。

○選挙は、来日中のヨーク大学教授で、カナダの政治に関する権威でもあるジョン・セイウエル氏に解説をお願いしました。選挙直後の分析であり、本紙発行までに状況の変化があることが予想されますが、進歩保守党勝利の背景や新政権が抱える問題等については、よくご理解いただけたと思います。

○もう一つの焦点は、サミットにのぞむカナダの立場です。東京サミットでは、エネルギー問題を中心にいくつかの議題が予定されていますが、本紙ではとりあえず日加貿易とカナダ経済の見通しをとり上げました。

○前号に間違いがありました。「二十ページ」一段目の「極東委員会(SCAP)」は「極東委員会(FEC)」に、「二十一ページ」四段目の「進歩党内閣」は「進歩保守党内閣」に訂正します。また、五十二ページの写真に撮影者 Jacques Grenier 氏の名前が欠けていました。

(吉田)

本紙中の意見や見解は、必ずしもカナダ政府またはカナダ大使館の考え方を反映するものではありません。また公式文書の翻訳は仮訳です。転載の際は、できるだけ出典を明らかにして下さい。ご意見やご希望は左記の住所にご連絡下さい。

〒東京都港区赤坂七丁目三十二六

カナダ大使館広報部